

学習のめあて

○ どちら話のおもしろさをつかみましょう。

読んで考えよう

● 吉四六さんは、カラスをたくさんつかまえて、町へ売りにいくことになりました。

① カラスの肉など、くさくてうまくないが、どうしたらうまく売れるかな。

② 吉四六さんは考えました。

まず、キジを三羽手に入れました。キジをざるに入れて、カラスのかごの上におきました。そして、町へ入っていったのです。

③ 「カラスはいらんかなあ。カラスはいらんかなあ。」

吉四六さんは、大声はりあげて、売り歩きました。これをみた町の人たちは、

「あいつ、キジを持ってるのに、カラス、カラスって言ってるぞ。」

「カラスよりは、キジの方がよほど高いのに、どういうわけかな。」

④ 「ひとつ、買ってみるか。」

さっそく、吉四六さんを、よびとめました。

「おい、カラス一羽、いくらだね。」

吉四六さんは、ねだんを言いました。そのねだんは、キジにしては安すぎるし、カラスにしては高すぎる、というわけでした。

町の人は、そのねだんで、キジが買えるなら安いもんだと、

「一羽、おくれ。」

すると、吉四六さんは、

「先にお金をはらってください。先にはらわねば、売らんよ。」

そこで、何人かの人たちが、お金をはらいました。

⑤ 「よろしい。」

吉四六さんは、かごの中から、ほんとうのカラスを取り出して、

「はい、カラスだ。」

「ほい、そっちの人も、カラスだよ。」

そう言って、わたししました。町の人たちは、ばか高いカラスを買わされて、おこること、おこること。

次の問いに答えよう！

① このお話の主人公はだれですか。

② ①の人物が町へ売りにいったのは、何ですか。

① 線①「カラスの肉」とありますが、どのようなものですか。

ア おいしくて見た目がよい。

イ くさくてうまくない。

ウ きたなくて食べづらい。

★ヒント★「カラスの肉」が町の人たちに売れないのはなぜかな？

② 線②「吉四六さんは考えました」とありますが、何を考えたのですか。

ア カラスを町で売る方法。

イ キジをつかまえる方法。

ウ 町まで売りにいかなくてすむ方法。

★ヒント★直前の吉四六さんのことをよく読もう。

③ 線③「吉四六さんは、大声はりあげて、売り歩きました」とありますが、どのように売り歩いたのですか。

カラスのかごの上に、

を置いて売り歩いた。

★ヒント★どうすればカラスが売れると考えたのかな？

④ 線④「ひとつ、買ってみるか」とありますが、町の人たちはなぜ買ってみようと思ったのですか。

ア カラスをおいしそうだと思ったから。

イ カラスを買いたいと思ったから。

ウ キジを売っていると思ったから。

★ヒント★町の人たちは何をうつもりだったのかな？

⑤ 線⑤「よろしい」とありますが、このとき、吉四六さんはどんな気持ちでしたか。

★ヒント★町の人たちは、吉四六さんの計画にだまされてしまったんだね。

このとき、使ってみよう

↓ 出す。
声が高く強く
はりあげる

読んで考えよう

① 生まれたての地球は、あつい火山のようにどろどろにとけたかたまりでした。そのまわりを、あつい雲やこいきりがとりかこんでいました。

りくも海もない、あついどろどろのかたまりの地球が、何万年も何おく年もたつうち少しずつひえて、あつい雲から雨が落ちてきました。落ちた雨はあつい湯となつていろいろなものをとかして流れ、また湯気となつて空にのぼつてゆきました。こうして雨がふり続け、あつい湯はとかし続け、また雲となることをくりかえしているうちに、地球の上がもっとひえてきました。とろけていた地球は、ひえて岩をつくり、高い所は山となり、ひくい所にはふった雨が集まりました。集まった水は、大きなかたまりとなつて、海になりました。海の水の中には、岩の中にあつたいろいろなものがとけこんでいました。その中で塩が、いちばんたくさんとけていました。

② 海と山ができてから、何万、何おく年たつうちに、海

③ の水の中で、小さなさいしよの生き物が生まれました。何千、何万年たつうち、さまざまな生き物がふえいろいろななかまが生まれてゆきました。中には、海から上がっておかでくらすものも出てきました。

こうして地球にはさまざまな生き物が生まれふえていきました。海には魚がふえおかには鳥やけものが生まれ、人間のせんぞも出てくるようになったのです。

④ これでもうみなさんは、海がなぜからい塩水なのかわかったことでしょう。みなさんが海へ行つたとき海の水をなめてからかったら、ああこれは大昔雨がふつて、あつい湯になつて流れ、岩や石の中にあつた、たくさん塩をなべんもなんべんもかきまぜるようになって、こい塩水になったんだなと思ひ出してください。



90ページへ

地 球 流 湯
キユウ ナガ レル ヨ

次の問いに答えよう！

① 何についての文章ですか。

海の水が

理由について

② ①の理由をときあかすために、何を説明していますか。

(のれきし)

① 線①「生まれたての地球」とありますが、どのようなものでしたか。

ア リくや海があるかたまり。

イ ひえた岩でできたかたまり。

ウ あついどろどろのかたまり。

★ヒント★どんなかたまりだったのかな？

② 線②「海と山ができてから」とありますが、地球に海と山ができるまでに起こったことを、正しい順番にならべかえましょう。

ア 岩をつくり、高い所は山となり、ひくい所にはふった雨が集まる。

イ 雨がふり、落ちた雨があつい湯となつていろいろなものをとかして流れる。

ウ 地球が少しずつひえて、あつい雲から雨が落ちる。

★ヒント★二つ目のだんらくに書かれていることをたしかめよう。

③ 線③「小さなさいしよの生き物」とありますが、どこで生まれましたか。

★ヒント★はしよをあらわすことばをさがそう。

④ 線④「海がなぜからい塩水なのか」とありますが、なぜですか。

大昔ふった雨が、湯になつて流れるときに、

から。

★ヒント★さいしよのだんらくに書かれていることをまめよう。

このよび、使ってみよう

とけてまわぬ。 → 今生きている人より前のじだいの人たち。
とけこむ。 → せんぞ

読んで考えよう

●「ぼく」の家では、フーチという犬をかいはじめました。

「ほら、ごはんだって。」

ママが、こなミルクとかんづめをぼくにわたした。

「まだ、フーチは二か月だから * 離乳食なのよ。ミルクとかんづめのえさをまぜてあげて。」

「ま、よろしく。」

パパもママも、フーチの世話をみんなぼくにおしつけて
いっちゃった。

それから学校に行くまでの一時間、^① ぼくは大きいそがし
だった。

えさをあげて、庭にはなして遊ばせる。便のあとしまつ
もしなくちゃあいけないし、ベビー毛布もお日さまの光に
あててあげなくちゃあー。

あつというまに一時間がすぎてしまふ。

いちばんつらいのは、フーチを小屋につないで学校に行
くときだ。

「すぐ帰ってくるから、おりこうにしていね。」

^② ぼくがはなれようとする、とっても悲しそうな声で
鳴く。

フーチにはわからないんだよ。さっきまで遊んでくれた
のに、どうして行っちゃうのか。

ぼくがはじめて幼稚園に行ったとき、ママがいないって
泣いた日のことを思い出した。ぼくだって、どうしてとつ
ぜんママが消えちゃうのかわからなかったもん。

だけどだんだん慣れて、ママやパパとはなれて遊べるよ
うになったし、友だちと遊ぶほうが楽しくなった。きつと、
フーチもいまにひとりぼっちのるすばんにもなれるさど、
ぼくは思った。

フーチはぼくが思ったとおり、^③ 一週間もするとぼくの
あとを追わなくなった。

「フーチ、すぐ帰ってくるからね。」

ランドセルをせおってバイバイすると、フーチはさびし
そうな横目でぼくを見て、しおしおと犬小屋に入っていく。
そしてこのごろは、学校に行く時間や、帰ってくる時間
をおぼえているようになった。

(注) 離乳食はまだふつうのご飯が食べられない赤ちゃん
や子どもにあたえるやわらかい食べ物。

次の問いに答えよう！

□① 「ぼく」がかっている犬は何という名前です
か。

□② ①の犬は、生後何か月ですか。

() か月

□① 線①「ぼくは大きいそがしだった」とあり
ますが、ぼくが学校に行くまでにしなければな
らないことは何ですか。

ア 自分のじゅんび。 イ フーチの世話。

ウ ママの手つだい。

★ヒント★「ぼくはなぜ「大きいそがし」
だったのかな？」

□② 線②「ぼくがはなれようとする、とつ
ても悲しそうな声で鳴く」とありますが、

□① このときのフーチは、どんな気持ちですか。

ア さびしい気持ち。

イ うれしい気持ち。

ウ はずかしい気持ち。

★ヒント★自分をおいて、「ぼく」が学校に行ってしまうときの気持ちを考えよう。

□② このときの「ぼく」は、どんな気持ちですか。
ア 楽しい気持ち。
イ あせる気持ち。
ウ つらい気持ち。

★ヒント★「ぼく」の気持ちが書いてあるぶんをさがそう。

□③ フーチが悲しそうな声で鳴くのは、なぜで
すか。

フーチには、

わからないから。

★ヒント★「ぼく」がはじめて幼稚園に行ったときと同じくうだね。

□③ 線③「一週間もするとぼくのあとを追わ
なくなった」とありますが、なぜですか。

フーチが

になれてきたから。

★ヒント★フーチがなれてきたとは何か？

この文ば、使ってみよう

↓ 元気がなく、しょんぼり
してしまふ。
↓ やらせる。
↓ おしつける。
↓ しおしおと

消える

